



編集・発行 三鷹市教育委員会 東京都三鷹市新川 6-35-28 (教育センター暫定施設)

MITAKA Education Board みたかの教育

紙面から 2・3面 / 平成30年度の主要な施策と予算 / コミュニティ・スクールを基盤とした
小・中一貫教育 4面 / 教育委員会表彰 / 三鷹市川上郷自然の村バスツアー ほか

三鷹市教育委員会 ☎ 0422-45-1151

総務課(3213)・学務課(3233)・指導課(3242)・図書館 0422-43-9151 ()内は内線番号

平成 30 年 2018.4.15

- 「人間力」 基礎的な素養を身に付け、自立した一人の人間として考え判断し、豊かに力強く生きていくための総合的な力
- 「社会力」 社会とのかかわりを持ち、社会の一員としての役割を果たしつつ、適切な人間関係を結び、生きていく力

学園・学校経営を円滑かつ効果的に推進できるよう、改善・充実を図り、教員のキャリア支援等を通して、三鷹にふさわしい教員を養成・育成し、子どもたちの学びをより一層豊かにしていきます。

3 学校の経営力と教員の力量を高め、特色ある学園・学校づくりを進めます

2 小・中一貫した質の高い学校教育を推進します
三鷹型の小・中一貫教育を充実・発展させ、連続性と系統性のある学習を保障し、子どもたちの義務教育9年間の学びと15歳の姿に責任をもった教育を実現します。

1 地域とともに、協働する教育を進めます
コミュニティ・スクールを充実・発展させ、地域とともに子どもたちを育てる学校をつくりまします。

三鷹市教育ビジョン2022(第1次改定)及び三鷹市生涯学習プラン2022(第1次改定)に基づき、次に掲げる7つの施策目標を柱に、具体的な施策の推進に取り組みまします。

教育委員会は、三鷹市教育ビジョン2022(第1次改定)に基づき、「人間力」と「社会力」を兼ね備えた子どもの育成を目指し学校教育を推進します。国の法改正を生かし、法制度上位置付けられた「小・中一貫教育校」や「コミュニティ・スクール委員会」として、より一体感のある学園経営と持続可能なシステムの構築を図ります。
三鷹市生涯学習プラン2022(第1次改定)に基づき、ライフスタイルにあった方法により学ぶことができる生涯学習社会の構築に向けて、市長部局との密接な連携により、市民の「学びと活動の循環」を推進します。

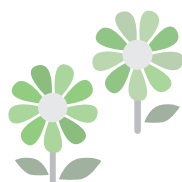
「いきいきと子どもが輝く教育・子育て支援のまちづくり」
「創造性と豊かさをひろげる生涯学習・文化のまちづくり」

教育委員会の行政の基本目標

2月に開催された教育委員会定例会で、平成30年度基本方針を決定しました。
↓総務課 ☎内線 3213
主要な施策・予算の概要は2面で紹介します

平成
30年度

教育委員会の 基本方針



目指す子ども像

- 自分を愛し、他人を愛し、三鷹を愛する人
- 確かな学力と健康でたくましい心身を備え、自ら学び続ける人
- 規範意識を備え、社会の一員として自ら責任ある行動がとれる人
- 自分の考えを持ち、他者と豊かなコミュニケーションがとれる人
- 国際的な視野とチャレンジする心を持ち、積極的に社会や地域に貢献できる人

教育委員の主な活動

教育委員会では、毎月、定例会を開催し、基本方針の決定、規則等の制定改廃、教科書の採択などの議案について審議を行っています。また、学校訪問を実施し、学校経営・授業などに對し指導・助言を行うほか、学校保護者との懇談会や学校の研究発表会、都内教育委員会相互の連絡会に出席するなどの活動を行い、学校の状況や教育行政をめぐる諸課題の把握に努めています。
教育委員会の会議の開催予定や会議録は、市ホームページに掲載しています。

平成29年度下半期の 主な審議案件と活動

- 10月
○教育長の三鷹市土地開発公社理事の兼職の承認
●東京都町村教育委員会連合会管外視察研修出席
●東京都町村教育委員会連合会第4ブロック研修会出席
●学校訪問(中原小学校)
- 11月
○平成29年度一般会計補正予算見積書
●市町村教育委員会研究協議会出席
●学校訪問(羽沢小学校)
- 12月
○三鷹市立図書館の基本的運営方針
○三鷹市文化財保護審議会への諮問
●校長人事の内申
●教育委員会と教員との学校における働き方改革に関する懇談会
●第2回総合教育会議出席
- 1月
○平成30年度一般会計予算見積書
○三鷹市登録有形文化財の登録の抹消
●東京都町村教育委員会連合会常任理事会・理事会・理事研修会出席
●学校訪問(井口小学校)
●教育委員会と市立小・中学校の保護者代表との教育に関する懇談会
- 2月
○平成30年度基本方針の承認
○三鷹市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償条例の一部改正の申出
○三鷹市教育委員会職員の臨時的任用に関する規則の一部改正
○三鷹市立小・中学校卒業式及び入学式に使用する告辞文(協議)
- 3月
○副校長人事の内申
●東京都町村教育委員会連合会研修会出席
●市町村教育委員会研究協議会出席
- 三鷹市立学校における働き方改革プラン
○三鷹市公立学校の管理運営に関する規則の一部改正
○三鷹市公立学校における学校運営協議会に関する規則の一部改正
(○は会議の案件、●は会議以外の活動)
↓総務課 ☎内線 3213

三鷹の教育をさらに前へ



教育委員会
教育長
たかべ あきお
高部 明夫

三鷹市教育委員会では、この12年間「コミュニティ・スクール」を基盤とした小・中一貫教育を進め、学校と保護者、地域との連携や協働により、児童・生徒の学力、人間力、社会力を育んできました。今では、学校支援ボランティアが年間2万人を超え、小・中学校の不登校数が始める前と比べて9割減少し、東京都の平均の10分の1となるなど安心して通える学校となっています。

国においては、このような三鷹市などの自治体での成果を踏まえ、平成29年4月には、学校運営協議会の設置の努力義務化や二つ以上の学校での学校運営協議会の設置を、平成28年4月には、義務教育学校や小中一貫型小学校・中学校の設置をそれぞれ可能とする法令改正を行いました。と同時に、これらを推進する人的支援、財政的支援も拡充されました。

そこで、三鷹市教育委員会では、これらを追い風としてさらにこの取り組みを充実させ、子どもたちの確かな成長を図っていきます。一つ目は、三鷹市の公立小中学校を小中一貫型小学校・中学校とするとともに新学習指導要領を踏まえた9年間カリキュラムを実践していきます。三鷹市の小・中一貫教育は、既存の小学校、中学校を生かしながら、系統的で連続性のある9年間カリキュラムを中心に相互乗入れ授業や小学校での教科担任制を行っています。昨年度113名の教員・学識者で構成する作成委員会と13の教科・領域部会で検討し、子どもたちが身に付ける資質能力をそれぞれの教科の見方・考え方を踏まえて内容別に系統立てたカリキュラムを改訂しました。この9年間カリキュラムを基に、子どもたちの学習のつまづきを解消し、見通しをもった質の高い授業にして、「主体的・対話的で深い学び」を展開していきます。

二つ目は、学園の一体感をさらに強める改正です。学校ごとの学校運営協議会を学園単位のコミュニティ・スクール委員会に一本化するとともに、学園長の権限の明確化や学園での小・中学校教員兼務発令を行うほか、コミュニティ・スクール推進員を順次配置し、学校と学校支援ボランティアのマッチング機能を強化していきます。併せて、活動ハンドブックの発行やCSガイドの改訂など情報発信、情報共有を充実するとともに、学園ごとの企画提案予算の活用促進など、学校や保護者、地域のみならずがやりがいを持って、子どもたちの成長につながる活動をさらに充実・発展していけるように取り組んでまいります。

今後ともよろしくご支援・ご協力をお願いいたします。

平成30年度の主要な施策と予算

平成30年度の市の一般会計の予算額は688億2千842万2千円で、教育費は73億8千160万9千円（一般会計に占める割合は10・7％）です。

教育委員会は、事業計画に基づき、次のような施策に取り組んでいきます。

⇒総務課☎内線3213

コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育の充実と発展《拡充》

1千388万9千円

コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育について、より一体感のある学園運営と持続可能なシステムの構築を図るため、国の法制度の改正を生かしながら、三鷹の教育の更なる充実、発展を図ります。

コミュニティ・スクール委員会の一体化やコミュニティ・スクール推進員の配置（3面参照）のほか、取り組みを周知するために保護者・地域等関係者に向けたリーフレットの発行などを行います。

学校における働き方改革の推進《新規》

2千235万2千円

教員の多忙化が全国的課題となっている状況を踏まえ、教員が担うべき業務に専念できる環境の確保、教職員の意識改革、部活動の適正化等に取り組むことにより多忙化を解消し、学校教育の更なる質の向上を図るとともに、ライフ・ワーク・バランスの推進に取り組みます（3面参照）。

教育支援の充実《拡充》

5千861万8千円

児童・生徒や保護者の相談に当たり、福祉や保健、医療など関係機関との連携が求められるケースが増加していることから、現在小学校のみに配置している市配置のスクールソーシャルワーカー機能も担うスクールカウンセラーを中学校にも拡充し、小・中一貫した相談や支援を継続して行える体制を整備します。

みたか地域未来塾事業の実施《拡充》

293万4千円

地域人財の参画による学校の教育活動等の支援など、学校・家庭・地域が協働で教育

通学路の安全確保の充実《拡充》

776万5千円

学校と地域等が連携して行う通学路の見守り活動を補完するため、引き続き、小・中学校通学路に防犯カメラを設置します。事業実施に当たっては、東京都の「通学路防犯設備整備補助金」を活用します。なお、平成30年度の設定をもって全市立小・中学校通学路への設置（各5台）が完了します。

学校施設の長寿命化改修工事の計画的な実施

8千200万円

学校施設の今後の計画的な改修を進めていくため、「学校施設長寿命化計画（仮称）」の策定に向けた調査を行います。平成30年度は、計画策定に向けた調査業務委託を実施します。

快適な学校環境の整備

876万3千円

老朽化した空調設備を計画的に更新するため、平成31年度の第三中学校の改修に向けて設計を行います。

◆平成29年度3月補正予算による

学校施設の改修など（2面左下記事参照）

●長寿命化改修工事の実施

5億4千696万9千円

●トイレ改修工事の実施

2億3千535万4千円

東部図書館のリニューアル

2億705万9千円

平成29年度の実施設計に基づき、耐震補強および空調設備、照明設備等の改修を行います。また、児童コーナー・学習コーナー等を新設するとともに、中庭にウッドデッキを設置するなど、滞在・交流型施設としてリニューアルします。なお、東部図書館サポーターを設立し、サポーターとの協働による魅力的な図書館運営に取り組めます。

神沢利子常設コーナーの設置《拡充》

151万2千円

三鷹市内在住の児童文学作家・神沢利子

氏から原稿や絵本原画など貴重な資料が寄贈されたことから、三鷹図書館（本館）1階児童開架に常設コーナーを設置し、展示や読書環境を整備します。また、これらを後世に継承していくため、目録を作成し、資料等の適切な管理を行います。

「その他の事業」

●学校給食食材の放射性物質検査の実施

26万1千円

●学校給食の充実と効率的な運営の推進および市内産野菜の活用《拡充》

4億5千19万6千円

●道徳教育推進拠点校事業の実施

20万円

●人権尊重教育推進校事業の実施

35万7千円

●オリンピック・パラリンピック教育推進校事業の実施

460万円

●アクティブライフ研究実践校事業の実施

30万円

●スーパースクール事業の実施

30万円

日本無線跡地開発事業への対応として 下連雀五丁目の通学区域を 一部変更していきます

現在、下連雀五丁目（日本無線株式会社跡地）に大規模な共同住宅の建設が計画されています。この地区は、高山小学校・第三中学校の通学区域になっていますが、平成32年度以降に同地区の児童・生徒数の急増が見込まれることから、教育委員会では「下連雀五丁目第二地区開発事業への対応方針」を定め、下記のとおり、児童・生徒数が減少している第一小学校・第六中学校へと通学区域を変更することとしました。当該地域と西側隣接地域の通学区域は、下記のとおりとなります。

変更にあたり、関係する学校の保護者や地域住民に向けた説明会を順次実施しています。

⇒学務課☎内線3230

◆日本無線跡地共同住宅（今後竣工）

現在	高山小・第三中
変更後	第一小・第六中

◆西側隣接地域（下連雀五丁目7～9番）

現在	高山小・第三中
変更後	第六小・第一中

安全で快適な学校環境の 整備に取り組んでいます

学校トイレの洋式化等の推進

児童・生徒にとって快適な環境と、災害時の避難所としての機能を向上させるために、学校トイレの洋式化をはじめ、床のドライ化、バリアフリー化を推進しています。

平成30年度は、前年度に引き続き羽沢小学校のⅡ期工事を実施するとともに、第六小学校の北校舎と第六中学校の校舎のトイレについて、夏休みを中心に洋式化などの工事を実施する予定です。

長寿命化改修工事の推進

学校施設の長寿命化および防災機能の強化を図り、さらに安全で快適な教育環境を整備するため、長寿命化改修工事を推進しています。

平成29年度に実施した第七小学校の改修工事に続き、平成30年度は、第二小学校と第一中学校の屋上防水、外壁塗装、窓改修、照明改修、非構造部材の耐震化などのⅠ期工事として、夏休み期間を中心に取り組みます。

工事期間中は、児童生徒、保護者、学校関係者、近隣の皆様にはご不便をおかけしますが、安全確保を第一に進めますので、ご理解とご協力をお願いします。

⇒総務課☎内線3223



洋式化工事を行った学校トイレ



外壁改修を行った第七小学校



床改修を行った第七小学校教室

平成30年4月 三鷹市の「コミュニティ・スクールを 基盤とした小・中一貫教育」新たなステージへ

平成28年度に、三鷹市で最初の小・中一貫教育校「にしみたか学園」が開園10周年を迎えました。平成30年度は、連雀学園、東三鷹学園、おおさわ学園が10周年を迎え、来年度には、三鷹の森学園、三鷹中央学園、鷹南学園が続きます。こうした中で、国の法制度が改正され、三鷹市が先行して取り組んできた「コミュニティ・スクール」や「小・中一貫教育」の取り組みが制度化されました。教育委員会では、今後も国や東京都の制度を最大限に活用しながら、三鷹の教育に合うものを積極的に取り入れ、子どもたちの成長につながる取り組みを推進していきます。

⇒指導課☎内線3245



小・中学校の教員合同による学園研究会



学園長とコミュニティ・スクール委員会会長会議

コミュニティ・スクール委員会の 一本化とコミュニティ・スクール 推進員の導入

これまで、学校単位の学校運営協議会と学園単位のコミュニティ・スクール委員会であったものを、法改正を生かし学園単位のコミュニティ・スクール委員会に一本化することで、学園としての主体的で特色ある取り組みを推進し、より一体感のある学園運営を図ります。

また、学校と地域をつなぐコーディネートの中心となる「コミュニティ・スクール推進員」を、学園ごとに順次配置していきます。学校と学校支援ボランティアとの調整機能を強化し、教育活動への地域の幅広い支援を持続的なものにするとともに、コミュニティ・スクールとしての事務局的な機能の充実を図ります。

小・中一貫教育校を 「小中一貫型小学校・中学校」に

学校教育法等の一部改正により、小・中一貫教育が法制度として位置付けられました。それを生かし、市内の全7学園を「小中一貫型小学校・中学校」とします。学園長が学園の学校間の総合調整を行うなど、学園長の権限を明確化するほか、組織体制を強化し、学園としての一体感の醸成を図ります。

また、平成30年3月に改訂した「三鷹市小・中一貫カリキュラム」(暫定版)を全教員で共有し、授業改善に生かすとともに、新学習指導要領の目指す「資質・能力」および各教科の「見方・考え方」等を踏まえたものとして深化させていきます。

3学園の10周年 記念事業を開催

平成30年度に開園10周年を迎える連雀学園、東三鷹学園、おおさわ学園の3学園合同の記念式典を開催します。記念事業の成果は、全7学園で共有し、これからのコミュニティ・スクールを進めていくうえでの契機とします。

また、10周年を迎える各学園で、小・中学校の児童・生徒が学園内に集まり、コミュニティ・スクール委員、保護者、地域の方々を迎える交流型の公開日を設ける予定です。

教員の働き方改革を通して、学校教育の質の向上を図ります
「三鷹市立学校における働き方改革プラン」を
策定しました

学校をめぐる環境が複雑化、多様化するともに、新学習指導要領に向けた準備など日々の教育活動の充実が求められる中、教員の役割が拡大し、教員の長時間労働が全国的な課題となっています。教員の勤務時間は基本的に午前8時15分から午後4時45分で過当たり38時間45分ですが、実態としては、過当の在籍時間が60時間を超える教員も少なくありません。

⇒指導課☎内線3240

教育委員会事務局と学校が連携・協働し、保護者や地域の皆様のご理解のもとに、次の3つの方向性を柱として取り組めます。

I 教員が担うべき 業務に専念できる 環境の確保

教員の業務負担の軽減を図るため、専門スタッフや外部人材など人員体制の確保、留守番電話による時間外連絡体制の整備やICTの活用などによる業務改善を図ります。

II 教員の意識改革 (タイムマネジメント、ライフ・ワークバランスの推進)

夏季休業中の学校閉庁日の実施などで休暇取得を促進します。また、教員が勤務時間を意識した働き方を実践できるように、退校目標時間等の設定やICTを活用した出勤時間の可視化などに取り組みます。

III 部活動の適正化

学校における他の教育活動とのバランス等の観点から、部活動のあり方を見直します。部活動休養日の設定や活動内容・時間の見直し、部活動指導員の導入促進、部活動運営方針の策定などに取り組みます。

プランの全文は、市ホームページでご覧いただけます。

全市立小学校で 校内通級教室が スタートします

平成30年度から、全市立小学校で校内通級教室がスタートします。教員が拠点校から各小学校を巡回し、学習や学校生活に課題のある児童の一人ひとりの課題に応じて、個別や小集団での指導を行い、児童が自信を持って学校生活を送れるよう支援します。

教育委員会では、インクルーシブ教育の理念(下図)に基づき、学びの場の連続性を大切にする教育を目指します。

⇒学務課☎内線3291

校内通級教室の拠点校・巡回校

拠点校：南浦小 巡回校：第四小、第五小、第六小、高山小	拠点校：第七小 巡回校：第三小
拠点校：北野小 巡回校：第一小、中原小、東台小	拠点校：第二小 巡回校：大沢台小、井口小、羽沢小

指導と支援の場の連続性



- ユニバーサル・デザインによる誰にでもわかりやすい授業
- 学級内での特性に応じた配慮指導
- 特性に応じた個別又は小集団等による指導(校内通級教室・通級制等)
- インクルーシブな環境での特性に応じた指導(固定制等)
- より専門的で手厚い特性に応じた指導(特別支援学校)

教育委員会表彰 おめでとうございます

平成30年3月12日に教育委員会表彰式が行われ、他の児童・生徒の模範となる行いをした市立小・中学校のみなさん(右:()内の学年などは表彰当時)が表彰されました。
⇒総務課 ☎ 内線 3214



柏木こころさん(一小・3年)「都内標語コンクール 最優秀賞」
山下十馬さん(二小・6年)「相撲:全国大会 3位」
小川桃葉さん(四小・5年)「全国童話作品コンクール 最優秀賞」
渡邊雄太さん(四小・6年)「サッカー:東京都大会 優勝」
櫻井柔土さん(五小・6年)「柔道:全国大会 優勝」
久利紗弓さん(六小・5年)「全国音楽コンクール 1位」
小林珠郎太さん(南浦小・3年)「相撲:全国大会 3位」
二宮颯祐さん(井口小・2年)「相撲:全国大会 3位」
羽太獅恩さん(東台小・6年)「野球:関東大会 優勝」
福本柚葉さん(一中・1年)「空手:東京都大会 準優勝」
島田芽依さん(一中・3年)「サッカー:全国大会 優勝」
磯野美優さん(五中・2年)「水泳:全国大会 6位」
吉川みのりさん(五中・2年)「新体操:東京都大会 2位」
牧口沢夢さん(六中・3年)「柔道:東京都大会 3位」
大西若菜さん(七中・3年)「サッカー:全国大会 優勝」
みたかオレンジウェブのみなさん
(三小・六小・南浦小・2~6年)
「バレーボール:東京都大会 準優勝」



三鷹市川上郷自然の村で リフレッシュしませんか？

平成30年度バスツアーのご案内

三鷹市川上郷自然の村では、今年も、三鷹市役所発着の1泊2日バスツアーを企画しています。ハケ岳、金峰山、千曲川源流、清里高原などの豊かな自然の中で、季節の味覚やイベントを満喫しませんか。詳しくは、順次「広報みたか」に募集案内を掲載します。
⇒総務課 ☎ 内線 3213

5月10日(休)まで受付中! **山菜採りツアー**
5月26日(土)・27日(日)

旬の山菜を存分に収穫できます。地元の山菜まつりで、山菜料理や川上そばも楽しめます。
JWTジャパンウインズツアー(株) ☎ 0267-66-1268
へ電話でお申し込みください。



山菜のレクチャーを受けるツアー参加者

今後のツアーの実施予定

◆春のトレッキングツアー(6月23・24日)

春の山々の緑あふれる大パノラマを楽しめます。

◆収穫体験ツアー (7月7・8日)

生産量日本一の川上村のレタスを収穫し、その場で召し上がれます。



一面に広がるレタス畑

◆きのこ狩りツアー(9月22・23日)

きのこの鑑定ができる専門家と一緒にきのこ狩り。

◆秋のトレッキングツアー(10月20・21日)

秋深まる高原の山々をトレッキング。

◆星空観望ツアー(11月10・11日)

標高1500メートルの川上村で、満天の星空観望。

※実施はいつでも土・日曜日

※ツアー名称、日程は変更になる場合があります。

川上郷自然の村は、市立小・中学校の自然教室で使用しない日は、保養施設として広く一般の方にご利用いただけます。グラウンド、体育館やミーティングルームを完備しており、ご家族や友人との宿泊のほか、サークルの合宿や企業研修等にも最適です。ぜひご利用ください。

宿泊の 問合せ

三鷹市川上郷自然の村
〒384-1406 長野県南佐久郡川上村大字原591番地362
☎ 0267-97-3206 FAX 0267-97-3207 HP <http://www.sizennomura.jp/>

市立図書館で 「図書館サポーター」が活躍中

市立図書館では、約140人(登録延べ人数)の市民ボランティアが「図書館サポーター」として、本の修理、書架整理、館内の装飾、ガーデニング、おはなし会の企画運営など様々な活躍をしています。
図書館サポーターは、平成25年に南部図書館みなみで、翌26年に三鷹図書館(本館)で活動を開始しました。「本が好き」図書館が好き「何か始めてみたい」という人が集まり、興味やライフスタイルに合わせた活動内容や活動方法等について話し合い、職員とともに工夫しながら活動を続けています。メンバーの中には、専門的な知識

や技術を自ら学び、活動に活かしている方もいます。
市立図書館は、「市民とともに歩み、交流する図書館」を目指して、今後も図書館サポーターとの協働や市民参加型事業を拡充していきます。平成30年度は、リニューアルを予定している東部図書館で新たに図書館サポーターを募集します。興味のある方は、是非お問い合わせください。
↳三鷹図書館
(本館) ☎ 43-9151



本の修理活動の様子



書架整理活動の様子



教育振興を目的とした寄付金を受け付けています

三鷹市では、学校教育の充実や生涯学習の推進など、教育振興を目的とした寄付金を募集しています。みなさんからいただいた大切な寄付金は、原則として基金へ一度積み立てたうえで、寄付をしていただいた方のご意思にそって事業に活用します。平成29年度は、市立小・中学校の学習環境の充実を図るための備品購入や、市が推進するコミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育の普及・広報のための、「コミュニティ・スクールガイド」「コミュニティ・スクール委員会だより」の作成に活用しました。寄付のお申し込みは、窓口(市役所本庁舎2階 相談・情報課)や郵送のほか、市ホームページの特設サイト(http://www.city.mitaka.tokyo.jp/furusato_nouzei/)からも簡単に行うことができます。

なお、市への寄付金は、所得税や住民税の控除対象になります。三鷹の教育へのご支援をお待ちしております。

⇒総務課 ☎ 内線 3213



寄付金を活用し小学校に卓球台を購入